

芸術科「音楽Ⅰ」学習指導案

広島県立安芸高等学校

- 1 概要 日時：平成 29 年 10 月 25 日（水）
対象：本校 1 年次 3, 4 組 男子 9 名 女子 13 名 計 22 名
場所：本校 B 棟 4 階音楽教室
- 2 題材名 リコーダーで創りだす音楽を伝道できる師範代になろう
- 3 題材 MOUSA P.37 「序曲」交響組曲ドラゴンクエストから
- 4 題材について

（1）題材観

本題材は「音楽Ⅰ」の学習指導要領の内容 A（2）器楽イ「器楽の音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫して演奏すること。」を取り扱うものである。この題材で使用する楽曲は著名なゲーム「ドラゴンクエスト」で使用されている楽曲で、誰もが一度は耳にしたことのある旋律であり、また今年の夏にシリーズ最新作が発売されるなど話題性もあることから、掘みとしての生徒の関心を引くことができると考えた。ただし、教科書では四重奏のアカペラとして扱っているが、本授業ではグループ学習を中心に表現や技術の工夫に焦点を絞って扱いたいために、旋律のみを扱うこととする。

（2）生徒観

音楽に対する興味は持っているが、読譜力、ソルフェージュ能力は未熟である。また、中学時にアルトリコーダーを取り扱っていない生徒がいたり、技術的にも身につけていない生徒が多数いる。そして全体的におとなしく、自己表現や他者とのかわり方が苦手な生徒が多いことが課題であったが、2 学期になり少しずつではあるが、共同作業や人前での演奏に自信を持ってきた様子が見受けられる。このように少しずつではあるが成長が認められるため、この能力を大切に育み、本校の学校経営計画にある目指す生徒像 2「相手の立場や考え方を尊重した上で、対話を重ねることができる生徒」の育成を目指し、集団での調和を図りつつ自主的な行動ができる生徒に育てていきたいと考えている。

（3）指導観

指導にあたっては I C E モデルを用いた生徒自身の能動的な学習を積極的に取り入れていきたいと考えている。常に生徒自身に思考させ工夫させることを念頭に置いた授業展開を心掛けたい。具体的には 4（5）人 1 組のグループを基本としたジグソー法を活用し、各自が担当するパートに対して責任をもって役割を果たし、習得した技術や技能を他の生徒へ教えて一つの楽曲を完成させる分業型のグループ学習を展開させることで、各々の有用感に繋げていきたい。

- 5 題材の目標

- リコーダーの演奏により音楽を形づくっている要素を感じ取り、それらの働きを感受した演奏をする。
- 楽器の音色や奏法の特徴を生かし表現を工夫して演奏する。

6 題材の評価規準

	ア 関心・意欲・態度	イ 音楽表現の創意工夫	ウ 音楽表現の技能	エ 鑑賞の能力
内容ごとの評価規準	楽曲の曲想に関心を持ち、意欲的に表現活動をしている。	音楽を形づくっている要素（旋律、強弱、アーティキュレーション）を知覚し、それらの雰囲気などを感受しながら音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて意図表現をもっている。	曲想のイメージをもって音楽表現をするために必要な楽器の技能を身につけ創造的に表している。	
学習活動における具体の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ① 楽曲の曲想に関心を持ちイメージをもっている。 ② イメージをもって表現しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 曲想にふさわしい演奏を感じ取り、他者と協力し、表現の工夫ができています。 ② 曲想にふさわしい強弱を意識しながら演奏を工夫している ③ 習得した表現を他者に説明し、互いに理解ができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 演奏に必要な運指、発声、ブレス、リズムを理解し楽曲にふさわしい演奏を工夫している。 ② 習得した技術を他者に説明し、互いに理解ができています。 	

次	学習内容	評価					
		関 心	工 夫	技 能	鑑 賞	主な評価規準	評価方法
第一 次 1 時 間	○曲全体の個人練習 ※C評価の生徒(前回の実技テストにおいて)に対しては個人指導	○		○		・楽曲に対する興味を持っている。 ア-① ・演奏に必要な運指, ブレス, リズムを理解し楽曲にふさわしい演奏を工夫している ウ-①	行動観察 個人指導 全体指導
第二 次 本 時 1 時 間	○各練習番号のグループ練習(ジグソー法の活用) ○横列A~Dの演習番号グループで練習し, 課題を見つけ技術・表現を習得する。 ※付箋と大きめの紙を用いてKJ法を活用する。	○	○	○		・イメージをもって表現しようとしている ア-② ・曲想にふさわしい演奏を感じ取り, 他者と協力し, 表現の工夫ができています。 イ-① ・曲想にふさわしい強弱を意識しながら演奏を工夫している イ-②	行動観察 ワークシート
第三 次 2 時 間	○練習番号でグループ練習したことをもとのグループに持ち帰り練習 ○縦列1~5のグループで練習し, 各練習番号の担当者は自分の箇所で学んだことを責任をもつ他者に教え, 曲を完成させる。 ○発表会		○	○		・習得した表現を他者に説明し, 互いに理解ができています。 イ-③ ・習得した技術を他者に説明し, 互いに理解ができています ウ-②	行動観察 ワークシート

(1) 本時の目標

グループ学習を通して、リコーダー演奏に必要な運指、ブレス、リズムを理解し、アーティキュレーションのつけ方を創意工夫する。

(2) 準備物

教科書 (MOUSA①) リコーダー 筆記用具

(3) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価規準	評価方法
導入	○号令 ○グループに分かれる。 ○本時の目標に対する課題意識を持つ。	・本時の目標を提示し、内容を確認する。 ・本時の目標↓ 人に教えるためにはどうするか？考えてみよう。	ア-①	行動観察
展開	○楽譜を4か所で区切ったグループで練習する。 ○練習をしながら付箋を用いたKJ法で課題と改善策と音楽的な気づきを各グループで出し合う。	・各小節グループを巡回し、レッスンを行う。その際に他の小節を担当する生徒は各自グループ練習及び付箋で課題、改善策等をまとめる。 ・練習に行き詰ったところで各グループの代表者を呼び、演奏、表現の工夫のヒントを与え、再度考えさせ練習させる。 ・グループを巡回する。	イ-① イ-②	行動観察 ワークシート
まとめ	○KJ法でまとめた音楽的な表現と技術を分析し、各グループの改善策をまとめ、発表する。	・生徒にわかりやすく技術的な事と音楽表現的な事とをカテゴリー分けさせ、理解を深めさせる。	イ-①	ワークシート

○グループで練習するにあたってどのように練習したらより良い音楽ができるか各自付箋を貼ったいろんなことを書きましょう。

- ・技術的な表現

- ・音楽的な表現

まとめ（次回の授業のグループ練習で使えることや、ほかのメンバーにどのように教えたらいいたろう？まとめてみよう。）

○各グループ一覧表

	1	2	3	4	5
A	10325	10404	10302	10303 10306	10426
B	10329	10326	10419	10434	10324
C	10322	10415	10327	10435	10427
D	10332	10405 10402	10406	10416	10421

※個人情報のため番号で記載。A-4及びD-2は人数の関係上2名で担当。